

一人一人に寄り添える学校であいたい

今月、中学生が関係した重大な事故や事件が次々と起こり、それによって尊い命が失われました。中学校の校長として非常に心が痛むとともに、このような事故や事件が起ってしまった無念さと未然防止の難しさを痛感しています。

燕市の中学生が校舎から転落して死亡〔11月9日（火）〕

9日の早朝、中学3年生の女子生徒が校舎3階のバルコニーから転落して死亡した。死亡した生徒の自宅から、いじめを訴えるメモが見つかった。

根室市の中学生が女性店員を刺傷〔11月19日（金）〕

根室市の大型商業施設で、14歳の中学生の少年が女性店員を包丁で切りつけ、殺人未遂の疑いで現行犯逮捕された。少年は「誰でもよかった」と供述している。

愛知県の中学校で生徒が同学年の生徒を刺殺〔11月24日（水）〕

24日の朝、中学3年生の男子生徒が同学年の生徒を教室前の廊下に呼び出し、包丁で刺した。刺された生徒は搬送先の病院で死亡し、刺した生徒は現行犯逮捕された。

関係した生徒にいったい何があったのか。なぜ、このような事故や事件が起きてしまったのか。これについて、軽々しく推測で述べることはできません。ただ、燕市と愛知県で起こった事故、事件の現場が学校であったことに、強い衝撃を受けています。

この2件については、学校で行われたアンケートや教職員の見とり等でも事故や事件につながる兆候が確認されず、発生を未然に防ぐことができませんでした。

どうやったら生徒の悩みや切なさに気付くことができるのか。そして、このような事故や事件を未然に防ぐにはどうすればいいのか。今回のことを機会として、学校の在り方や未然防止に向けた取組などについて、改めて深く考えていきたいと思っています。

大形中学校
校長室だより

夢・希望・未来

令和3年11月25日

第20号

悩みを抱えないで。一人じゃない！一緒に、本気になって考える！

学校や家庭での生活で、何も悩みや困りごと、トラブルを抱えないことの方が珍しい。中学生ならば、個人の問題としての悩みや、仲間や家族との間で生じるトラブルは、あって当たり前のことです。そして、その悩みやトラブルを解決し、乗り越えていくことも、一人一人の成長には必要なことです。

ただ、一人では解決できない悩みや困りごとがあったら、それを自分だけで抱えずに、仲間や先生、家族に向けてSOSを出してほしい。あなたのまわりには、あなたの悩みを受け止め、共に悩み、解決に向けて本気になって考えてくれる人が必ずいます。勇気を出して、抱えている悩みや切なさをまわりの人に伝えてください。

また、「悩み、困っている仲間が自分のまわりにいるかもしれない」という思いをもちながら、仲間を見つめてもらいたいと思います。そんな人を見つけたら、その人に寄り添う一歩を踏み出してください。

大形中の教職員は、生徒の皆さんの味方です。一緒に、本気になって考え、解決の道を探すことを約束します。

生徒全員にとって「安全・安心」な場であること。それが学校だ！

先日の生徒朝会で行われたレクリエーションでは、進行の本部役員のかけ声に全校が元気よく反応し、学年の壁を超えて楽しむ姿が見られました。今の大形中のよさが表れた場面だと感じました。

この雰囲気は常に保たれ、「多くの生徒」ではなく「生徒全員」にとって安全で、安心して過ごせる学校でなければなりません。どんな仲間でも、その存在を互いに大切に、受け入れ合える学校でありたいと思います。「ありのままの自分でいいんだ」「学級、学校に自分の居場所があるんだ」という思いを生徒全員がもつことのできる学校づくりを進めていきます。



動きのたびに歓声が上がリ、全校が大いに盛り上がった生徒会レクでした。本部の皆さん、素敵な企画をありがとう！